

益城町架け橋期カリキュラム

・ウェルビーイング

益城町教育理念

「一人一人が輝き 夢と希望にあふれた 益城の人づくり」

	5歳児		小学校1年生	
	前期 (4月~9月)	後期 (10月~3月)	前期 (4月~9月)	後期 (10月~3月)
期待する子ども像	<p>自分の周りの「人・もの・こと」と主体的に関わり、「遊び」「学び」の喜び・楽しさを感じながら、仲間とともに伸びゆくこども チャレンジできるこども!!</p> <p>【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】</p> <p>①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現</p>			
学びのプロセス	遊びに浸る中での気づき / 学びの芽生え		自覚的な学び	
園で展開される活動 小学校の生活科を中心とした単元構成	<p>興味・関心をもって自然物に親しむ (身近な虫、草花、野菜や花の栽培、生き物の世話)</p> <p>昔遊び・正月遊び (かるた・トランプ、伝統的な遊び)</p> <p>お店屋さん、クッキングなどの「ごっこ遊び」 水・砂・泥などを使った遊び (砂場、泥だんご・色水遊び)</p> <p>指先を使った遊び (力強くかく)</p> <p>身体を使った遊び (外遊び、水遊び、色水、シャボン玉遊び)</p> <p>楽器を使った遊び (踊り、表現遊び、歌)</p> <p>もうすぐ1年生 (卒園に向けて)</p> <p>身体を使った遊び (縄跳び遊び)</p> <p>絵本に親しみ、文字に関心を持つ</p> <p>サークルタイム(話し合い)</p> <p>空き箱を使った遊び 製作・廃材遊び</p> <p>集団遊び (リレー、ボール遊び(ドッジボール・サッカー等)、鬼ごっこ)</p>		<p>生活科 「がっこうだいすき」(学校探検) 国語・算数・図工・音楽・体育</p> <p>生活科 「いきものとなかよし」(虫探し) 国語・算数・道徳</p> <p>生活科 「じぶんでできるよ」(家庭生活調べ) 国語・道徳・特活</p> <p>生活科 「ふゆをたのしもう」(動植物の観察、冬遊び) 国語・音楽・体育</p> <p>生活科 「なつがやってきた」(動植物の観察) 国語・算数・道徳</p> <p>生活科 「たのしいあきいっぱい」(動植物の観察) 国語・音楽・図工・道徳</p> <p>生活科 「きれいにさいてね」 (あさがおの栽培・観察)</p> <p>生活科 「もうすぐ2年生」 (学校紹介、幼保小交流)</p>	
指導上の配慮事項	<p>5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもの声に耳を傾け、興味、関心を大切に「こども主体の保育」に取り組めるようにする。 こども達に肯定的な言葉をかけ、苦手なことにチャレンジできるようなかかわりを持つ。 試行錯誤する過程を大切に、多様な考えがあることに気づく柔軟な思考を育む。 幼児の主体的な遊びを大切にしつつ、どのような成長を願うのかといった保育者の意図を環境に込め構成する。 「なぜ、どうして」の興味や疑問、探求心や知的好奇心を大切に、様々な活動や学習への意欲を高めていく。 幼児期では、様々な経験や体験ができる環境を整え、こどもたちに自信をつけ、「やったことがある」を小学校の教科学習、授業へつなげ生かしていく。 相手の気持ちを想像し受け入れつつ自分の考えを伝えて気持ちに折り合いをつける経験を重ねていけるようにする。 		<p>国語・算数・生活科・音楽・図工・体育・道徳・特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期の経験や児童の思いを大切に指導で、こどもの成長につなげる。 こども達の豊かな体験を保障し、各教科で五感を大切に学習を進める。 試行錯誤を促す授業を通して、こどもたちが主体的に深く学べるように工夫していく。 日常生活に関連した課題設定で、興味関心を高める学習展開を進める。 	
交流活動	保育施設同士の交流・1年生との交流・就学時検診・益城町幼保共通の歌(にじ)		1年生同士の交流・上級生との交流・幼保との交流・就学時健診・体験入学	
家庭や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に架け橋期のカリキュラムについて繰り返し周知する中で理解を図り、小学校入学に向けた準備へとつなぐ。 日常的に活動の中で見られるこどもの気づきや学びの姿を伝えるとともに、そのよさや成長を共に実感する。 ICTの活用により、教育、保育実践やこどもの学びを「見える化」する。 		<ul style="list-style-type: none"> 架け橋期のカリキュラムについて保護者に繰り返し周知し、連携して取り組む。 ICTの活用により、教育活動や授業の様子を、保護者や地域に共有し成長を実感してもらう。 	

